

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

九遊の家

グループの名称

九州周遊のよか仲間達

直近採択グループ番号

06-0771-0751

(グループ代表者)

代表者名

高島 正弘

代表者印

代表者所属先

高島建設工業株式会社

代表者所在地

長崎県諫早市小野島町2223番地1

代表者電話番号

0957-24-3011

(グループ事務局)

事務局事業者名

高島建設工業株式会社

事務局担当者名

高島 正嗣

印

事務局郵便番号

854-0031

事務局所在地

長崎県諫早市小野島町2223番地1

事務局電話番号

0957-24-3011

事務局FAX

0957-24-3012

事務局担当者E-mail

m.takashima@amwood.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	九遊の家
2. グループの名称(必須)	九州周遊のよか仲間達
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0771-0751
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長崎県・佐賀県・福岡県・熊本県
5. 結成年(必須)	2008 年
6. グループ代表者名(必須)	高島 正弘
7. グループ代表者の所属先(必須)	高島建設工業株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	長崎県諫早市小野島町2223番地1
9. グループ代表者電話番号(必須)	0957-24-3011
10. グループ事務局事業者名(必須)	高島建設工業株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	高島 正嗣
12. グループ事務局郵便番号(必須)	854-0031
13. グループ事務局所在地(必須)	長崎県諫早市小野島町2223番地1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0957-24-3011
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0957-24-3012
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m.takashima@amwood.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	1	
V. 設計	4	設計事務所を施工店が兼ねている場合一部を除き構成員として登録しない
VI. 施工	48	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製品」の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製品(合法伐採木材等証明)			
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		32	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	32	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		13	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	13	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		11	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		22	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	22	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		28	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	28	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		11	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		3棟				
			500㎡						
			0棟						
			0㎡						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	1施工店につき1件を配分した上で、確定物件のある施工店へ順次配分していく								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	1	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	175	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 九遊の家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県・佐賀県・福岡県・熊本県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 九州周遊のよか仲間達	(結成年) 2008年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0771-0751	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	九州の気候風土に対応する為の断熱性能 → 29年度も断熱性能を重視し、断熱等性能等級4を確保。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	昨年に引き続き、地元九州の文化を継承する産品を1種類以上使用する。又は長崎県の文化/歴史を継承する産品・伝統品を2種類以上使用・贈呈する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	同上	◎
④①～③の背景	九州には筑前国・筑後国・肥前国・肥後国・豊前国・豊後国・日向国・大隅国・薩摩国の九つの国から成ったという歴史があり、それぞれに独自の文化や風習が残る。多種多様な文化が残っており、地域独自の特産品、名産品も多い。また当グループの中心活動地域である長崎県は、かつて諸外国との窓口になった歴史もあり、伝統芸等も多い。また一方で年間平均気温が高く、日差しが強い。黄砂の飛来、台風とあわせ住宅においては対策が必須な気候風土である。 以上の背景から、当グループは以下の2点を地域型住宅の主たるテーマとして、地域型住宅の普及拡大を目指す。 ○九州の気候風土に合わせた、新たなスタンダード住宅(台風・黄砂・日差し対策) ○九州/長崎の歴史・文化・名産品を伝える家	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・地域型住宅の種類に応じて、ユーザーニーズに合わせながら、市街地の低炭素化、住宅の省エネルギー化、住宅のゼロエネルギー化にも積極的に取り組んでいく。また本年度より供給地域に隣県で被災地域である熊本県を加え 地域型住宅を供給、復興の一助となるよう取り組んでいく、	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ユーザーニーズの観点から、当グループでは工法の制限は行っていない。軸組工法、枠組壁工法による住宅両方を提供している為、用材の寸法の規格・統一化等は難しい。 設置するトイレについては節水型トイレに統一している。	
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 九州の気候風土に対応する為の断熱性能 → 断熱等性能等級4を確保。地元九州・長崎の文化を継承する産品の使用。また熊本の名産のいぐさの使用はグループ内で奨励していく。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット会社を1社、建材流通会社を3社(同一グループ会社)とし、木材の最終加工、供給ルートを実質一本化している。また、事務局を同プレカット会社に設置する事で、窓口を統一化し、地域材に関する情報の共有化を計っている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記②-1の取組により、地域材に関する供給ルートが実質一本化している為、調達事務の合理化に繋がっている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループにおける施工方法や、商材を記載したガイドラインを作成・配布し、グループ内で共有していく事で、生産体制の効率化・合理化を図るとともに、提供する地域型住宅の品質の安定化を目指している。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の出荷状況等の情報を事務局から会員宛てに情報発信するほか、事業における申請を積極的にサポートし、施工メンバーの事務手間を削減する事で、生産性の向上につなげている。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおける施工方法や、商材を記載したガイドラインを作成・配布し、グループ内で共有していく事で、生産体制の効率化・合理化を図るとともに、提供する地域型住宅の品質の安定化を目指している。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工現場において他のグループ構成員によって検査・確認を行う体制を目指している。グループ構成員同士の検査体制を整備していく事で、グループ全体、そして地域型住宅のレベルアップを図り、グループへの信頼性の向上へとつなげていく。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同一グループ会社による地域材供給という利点を活かし、地域材の見積についてグループ価格、かつグループ名入りの共通のフォームにて作成する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟、住宅瑕疵担保責任保険に加入する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局の高島建設工業㈱では当グループの働き方改革のモデル企業として現行 土曜日の休日は隔週であるものの出勤土曜日は有給取得を奨励、週休2日へむけ整備を図っている	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で大工技能者の情報を共有。現場の人手不足解消の一助となっている。また高齢の大工技能者にはプレカット工場での木材加工の仕事案内などを行っている。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員企業の加入状況に関しては把握されていないため本年度はアンケートなどによるグループ内での情報把握に努める	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年8月～9月の定例会においてグループの安全宣言を実施。施工現場及び生産現場での意識向上を図っている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	毎年8月～9月にグループの定例会を行っている。その際 標準仕様の確認、生産体制の確認を行っている。グループ内で若手工務店による勉強会を3ヶ月に1回実施。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 九遊の家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県・佐賀県・福岡県・熊本県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 九州周遊のよか仲間達	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0771-0751	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅タイプに係らず、長期間の住宅履歴情報の管理を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 指定情報サービス機関による住宅履歴管理を推奨している。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関発行の住宅履歴情報証明書等	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の点検時期・点検内容を設定。点検時期には事前案内を通知し、スムーズなメンテナンスを実現する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の点検時期・点検内容を設定。点検時期には事前案内を通知し、スムーズなメンテナンスを実現する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検や補修の記録を、蓄積している住宅履歴情報に追加する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局とグループ構成員を中心とした工務店でエンドユーザー参加型のイベントを昨年に引き続き開催する。イベントでは相談コーナーをメンテナンス方法の他、補助金の活用や住宅ローンなど、エンドユーザーの啓蒙を行う。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会の設置は行っていないが、定例勉強会(2カ月1度程度)において、グループとしての維持管理の方針について検討する時間を設けている。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ユーザーニーズに合わせ、住宅向けの24Hコールセンターサービスや、太陽光設備に対しての定期点検プラン等を導入する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局(プレカット会社)が中心となり、グループ内セーフティネットを構築する。構成員の廃業等が発生した場合、当該事業者と事務局、そして同一地域の他の構成員による相談の元、当該事業者の消費者に対して、その後の点検、維持管理、メンテナンス等のサポートが確実に実施される体制を構築する。その際、情報サービス機関によって保管・管理している住宅履歴情報を活用しスムーズな実施を実現する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例勉強会において、過去事例に関する情報交換の場を設け、対策について検討する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局とグループ構成員を中心とした工務店が主催する「快適住宅フェア」を今年度も開催する。イベントではメンテナンスとともにゼロエネルギー住宅やBELS表示などについても一般エンドユーザー向けに紹介していく。		◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員向けに、構成員のグリーン化事業活用施工現場を公開し、未経験会社が施工のノウハウを学ぶ場を作る。事務局による長期優良住宅 ZEH住宅などのサポートを行い、申請手続きを簡略化し未経験会社が長期優良住宅・ZEH住宅などを提供しやすい体制を作る。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおける施工方法や、商材を記載したガイドラインを作成・配布し、グループ内で共有していく事で、生産体制の効率化・合理化を図るとともに、提供する地域型住宅の品質の安定化を目指している。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同ガイドラインや、建築図書・図面等	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の実績に基づいて、グループ全体の受注予測や活動方針を立てている。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ブランド化事業の際に設定したグループの中長期的な活動方針における数値目標の達成を目指していく。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局をはじめとした木材関係会社は、需給予測に基づいて、地域材の供給体制を整える。施工構成員については、グループでの各種取組に加え、受注拡大のための取組を自主的に行う事とする。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 33名 今年度の参加目標人数 48名	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 12名 今年度の参加目標人数 24名	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー技術者講習会開催日時を定例会で報告。参加を促進させている。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自主勉強会について2~3回に一度、外部からの講師を招き、新たな知識・技術を積極的に身につけられる場を設ける。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 非住宅物件にも対応するためプレカット工場では非住宅対応の加工機を平成28年に導入。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ZEHビルダーの登録にはグループで積極的に取組み、登録研修会などを実施していく。構成員のグリーン化事業活用施工現場を公開し、構成員がノウハウを共有できるようにする。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 九遊の家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県・佐賀県・福岡県・熊本県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 九州周遊のよか仲間達	(結成年) 2008年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0771-0751														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】															
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	選定した地域材を主要構造材に使用する。 申請事務の合理化の観点から、使用量については昨年同様、下表(④)に基づき、過半に相当する量とし、使用割合という形では設定しない。②、③については参考とし、共通ルールには関わらないものとする。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<table border="1"> <thead> <tr> <th>延べ床面積</th> <th>対象地域材の使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80㎡未満</td> <td>4㎡</td> </tr> <tr> <td>80㎡以上 95㎡未満</td> <td>5㎡</td> </tr> <tr> <td>95㎡以上 110㎡未満</td> <td>6㎡</td> </tr> <tr> <td>110㎡以上 125㎡未満</td> <td>7㎡</td> </tr> <tr> <td>125㎡以上</td> <td>8㎡</td> </tr> </tbody> </table>	延べ床面積	対象地域材の使用量	80㎡未満	4㎡	80㎡以上 95㎡未満	5㎡	95㎡以上 110㎡未満	6㎡	110㎡以上 125㎡未満	7㎡	125㎡以上	8㎡	
延べ床面積	対象地域材の使用量														
80㎡未満	4㎡														
80㎡以上 95㎡未満	5㎡														
95㎡以上 110㎡未満	6㎡														
110㎡以上 125㎡未満	7㎡														
125㎡以上	8㎡														
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の出荷状況等の情報を事務局(プレカット会社)から会員宛てに情報発信する。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の最終加工、供給ルートを実質1本化している為、価格の共有は実現できている。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 過去実績より、1棟あたり6㎡前後を平均値として考えている。	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 具体的な使用量等は設定しないが、下記②の取組において、地域の伝統性・和の住まい等に係る産品・伝統品の使用を積極的に推奨する。	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 具体的な使用量等は設定しないが、下記②の取組において、地域の伝統性・和の住まい等に係る産品・伝統品の使用を積極的に推奨する。	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 具体的な使用量等は設定しないが、下記②の取組において、地域の伝統性・和の住まい等に係る産品・伝統品の使用を積極的に推奨する。	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 具体的な使用量等は設定しないが、下記②の取組において、地域の伝統性・和の住まい等に係る産品・伝統品の使用を積極的に推奨する。	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元九州の文化を継承する産品を1種類以上使用する。又は長崎県の文化/歴史を継承する産品・伝統品を2種類以上使用・贈呈する。	◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上	◎												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元九州の文化を継承する産品を1種類以上使用する。又は長崎県の文化/歴史を継承する産品・伝統品を2種類以上使用・贈呈する。	◎												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 勉強会において街並み・景観ガイドラインについての議題を設ける。細かくエリア分け(市町村単位)をした上で、当該地域の施工店が中心となって、各員の知識を深めていく。	○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記①を始めとした取組において、地域の伝統性・和の住まい等に係る産品・伝統品の使用を積極的に推奨する。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。													
カ. その他															
【平成30年度対応方針】															
	東日本大震災の復興に資する取組	熊本地震の復興にも東日本大震災の復興への取組みを役立てるため本年は年次の定例会で震災復興への講演を外部に依頼、開催予定。	◎												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	上記-C-②-1~d-②の取組において、被災地の産品を積極的に利用することで、復興の一助とする。また過去2年 構成員が熊本の復興現場に携わることも多くあったことから、グループとして人的供給 プレカット加工の支援など人手不足解消の応援ができるようにする。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 九遊の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 長崎県・佐賀県・福岡県・熊本県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 九州周遊のよか仲間達	<small>(結成年)</small> 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0771-0751	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>【当グループのゼロエネルギー提案住宅の特徴】</p> <p>当グループにおいては6地域・7地域においてゼロエネルギー住宅を提供していく。 性能値としては以下を想定している。また本年度より供給対象地域に被災地域である熊本県を加え、当グループのゼロエネルギー住宅を復興の一助となるよう提案していく。</p> <p>①ゼロエネルギー評価方法と評価(様式5-1 抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法:平成28年度省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法 ・モデルプラン評価結果 1)九遊の家:ゼロエネハウス(6地域):エネルギー削減率(全体R)110%(太陽光発電を除くR0)21%(太陽光発電)5.00kW 2)九遊の家:ゼロエネハウス(7地域):エネルギー削減率(全体R)115%(太陽光発電を除くR0)22%(太陽光発電)5.00kW <p>また、当申請書記載の共通ルールは、原則的に住宅タイプに関わらず適用される物ではあるが、優良建築物に対して適さない、一部の取組についてはその限りではない。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。